

第6回湘南ミュージックラボ

～クラシックの作曲家から学ぶ「生きて、遺す」ということ～

《古典派時代とは》

- ▶ バッハの死（1750年）からベートーヴェンの死（1827年）まで
- ▶ この時代の音楽を**古典派音楽**という
- ▶ 主にウィーンの作曲家が活躍したことから**ウィーン古典派**ともいう
- ▶ **絶対君主制**が確立と**貧富**の差
- ▶ **啓蒙思想**という新しい考え方が掲げられた
- ▶ **コンサート**が盛んに行われる＝**市民**に音楽が浸透
- ▶ **音楽家達の自立**
- ▶ **ポリフォニー**から**ホモフォニー**に変わった
- ▶ **交響曲**や**管弦楽**の基礎が確立
- ▶ **ソナタ形式**の確立

《バッハ》



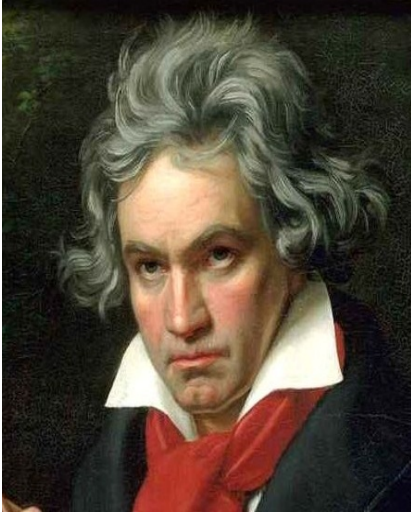
- ▶ 本名：ヨハン・ゼバスティアン・バッハ
- ▶ 職業：作曲家、オルガニスト、宮廷音楽家
- ▶ 人物：堅実で勤勉だけでなく、好奇心も強く古いものにこだわらない
- ▶ 1685年－1750年（＝バロック音楽）
- ▶ 1000曲以上作曲した
- ▶ ヨーロッパ音楽の基礎を築いた
- ▶ ポリフォニーや対位法、最先端の記譜法
- ▶ 多くの作曲家が彼からの影響を受けている

《モーツァルト》



- ▶ 本名：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
- ▶ 職業：神聖ローマ帝国皇室宮廷作曲家 などなど
- ▶ 人物：明るく、冗談（レベルが高い）好きな性格
- ▶ 1756年ー1791年
- ▶ 天才的な作曲力
- ▶ 7歳から演奏旅行（人生の4分の1）
- ▶ アイデアが溢れる（メロディーの宝庫）
- ▶ 理論よりもひらめきで作曲する
- ▶ 1000曲以上作曲した

《ベートヴェン》



- ▶ 本名：ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
- ▶ 職業：ピアニスト、指揮者、作曲家
- ▶ 人物：気難しく癩癩もちと思いきや気品ある慎重な性格
- ▶ 1770年ー1827年
- ▶ 「アーティスト」を確立
- ▶ 哲学＝美学
- ▶ メトロノームを初めて活用した音楽家
- ▶ 非常に高い先見性
- ▶ 波乱万丈の生涯
- ▶ 音楽史上、最も重要な音楽家の一人

《シューベルト》



- ▶ 本名：フランツ・ペーター・シューベルト
- ▶ 職業：作曲家、ピアニスト、学校の教師
- ▶ 人物：人見知りで楽観的な性格
- ▶ 1797年－1828年
- ▶ ロマン派の先駆け
- ▶ 美しいメロディー（歌曲）をたくさん作曲
- ▶ 一般大衆から生まれた音楽家
- ▶ ベートーヴェンやモーツァルトに憧れた
- ▶ 質素な短い人生

《生きるキーワードを探る》

●あなたの見つけた生きるキーワード

	バッハ	モーツァルト	ベートーヴェン	シューベルト
生きる キ ー ワ ー ド				

●誰かの見つけた生きるキーワード

	バッハ	モーツァルト	ベートーヴェン	シューベルト
生きる キ ー ワ ー ド				

《あなたが生きて、大切にしたいものを絵や文字におこす》

《今回扱った作曲家の代表曲》

● バッハ

『G線上のアリア』『シャコンヌ』『トッカータとフーガ』
『主よ、人の望みの喜びよ』『コーヒー・カンタータ』など

● モーツァルト

『フィガロの結婚』『魔笛』『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』
『トルコ行進曲』『レクイエムニ短調』など

● ベートーヴェン

交響曲第3番・第5番・第6番・第7番・第9番
ピアノ・ソナタ第8番ハ短調『悲愴』
ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調『月光』など

● シューベルト

歌曲『魔王』 歌曲『アヴェ・マリア』 歌曲『鱒』など